

いのち、痛みに全力

FUKUOKA WAJIRO HOSPITAL 2005.10



地域医療により大きく貢献!!

第7号

平成17年10月



病院機能評価認定 臨床研修病院

医療法人財団 池友会

福岡和白病院

〒811-0213
福岡市東区和白丘2丁目2-75
TEL.092-608-0001
E-mail:info@f-wajiro.biz
<http://www.f-wajiro.biz>

リハビリテーション科からのお知らせ 『介護者教室』のご案内

福岡和白病院リハビリテーション科では毎月一回『介護者教室』を行っています。

目的

患者様のご家族など介護を行う機会のある方に対して、病院内・ご自宅で介助・介護方法などの情報提供ができる機会を作ります。日ごろの介助・介護に対する不安や疑問を相談する機会を提供しています。

対象

入院・外来患者様のご家族など参加を希望される方はどなたでも構いません。(入院・外来患者様のご家族、親族、友人、患者様本人など)

日時

毎月第4土曜日 14:30~15:00

場所

2階 リハビリテーションセンター

テーマ

毎回テーマは異なり、これまで様々なテーマで行ってきました。

- ・寝返り、起き上がり、立ち上がり、車椅子への乗り移りなどの介助方法
- ・着がえや食事など身の回りの動作の介助・介護方法
- ・家族ができる訓練(手足のストレッチなど)
- ・介護保険について

以上のように参加者からのアンケートを元に介護者が知りたいと思っていることをテーマに挙げています。

内容・日程等、お問い合わせ先

福岡和白病院
リハビリテーション科
TEL 092-608-0001(内線1215)

たくさんの方のご参加をお待ちしております。お気軽にご連絡ください。

福岡和白病院の基本理念と基本方針

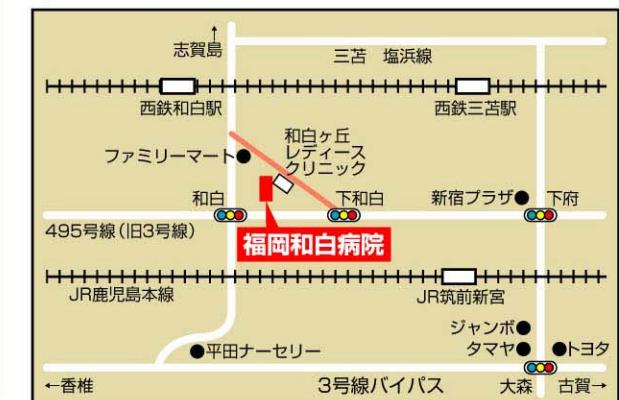
基本理念

手には**技術**、頭には**知識**、患者様には**愛**を

基本方針

1. 高度医療 学問的に、技術的に高い水準の医療を提供します。そのために必要な施設・設備の整備拡充に努めます。患者様と医療情報を共有し、急性期治療から、早期リハビリ、在宅医療まで一貫した、患者様のニーズに沿った安全で安心できるチーム医療を提供します。
2. 総合医療 地域の医療・福祉施設と密接な連携を図り、いつでも誰でも安心して利用できる、救急医療に重点を置いた地域医療の中核病院を目指します。
3. 地域医療

●案内図



皆の力で全力で病気と戦う「人間愛」を育てる。

— 収録日 二〇〇五年十月二十一日
取材・構成 森山真二

医療法人財団 池友会 福岡和白病院 副院長・外科部長・高度集中治療センター長

村田 厚夫

副院長・外科部長・高度集中治療センター長

医療法人財団

池友会

福岡和白病院

副院長

外科部長

高度集中治療センター長

村田 厚夫

副院長・外科部長・高度集中治療センター長

福岡市東区にある「福岡和白病院」は、一見ホテルと見紛うばかりの建物。屋上には民間病院には希有なヘリポートも備えている。これら全てが地域医療に貢献するための施設である。蒲池総院長の右腕として「ひたすら患者さんのために献身する」という村田厚夫・副院長を訪ね、医師としての人生観などを伺った。

「このインタビューの一時間を作るのは大変な苦労だった」と同いましたが…。

村田 確かに忙しいですね。これまで副院長、外科部長、高度集中治療センター長に加え、この十月一日から医局長という肩書きも頂きました。一人四役ですから大変と言えば大変です。しかし約六十人の医師、約六五〇人のスタッフが、力を合わせて全力で病気と戦つて行こう!という気概に燃えている病院で働けることが出来るのは喜びです。

先生は阪大・医学部を卒業され、米・ロズウェル・パーク記念研究所留学・杏林大学・高度救命救急センターという経歴ですが、この和白病院に赴任された経緯は?

村田 私は阪大医学部時代、小川道雄先生の門下生として研究を積んでいました。当時から救急医療の在り方というものに興味を抱いていましたが、例の「阪神淡路大震災」の時、私は兵庫県の芦屋に住んでいました。私も被災者の立場になつたわけです。この時の行政の対応にいささかの疑念を抱かざるを得ませんでした。救急医療が求められているのにスピードが無いんです。たまりかねた私が、被災者の方々にあれこれ指示したものですから、始めのうち暫く私は私を役所の人間と思ったのです(笑)。

がかすかにあります。

少年時代の先生はどうな子供だったのでしょうか。

村田 スポーツ少年でした。小学生のころは地域の少年野球チームに入っていました。ピッチャーをしたかったのですが、肩が強いからということでセンターを守らされました。おかしかったのは小学六年生の時の作文に「大人になつたら外科医になる」と書いていたことです。当時人気のあつたテレビ・ドラマ「ベン・ケーシー」の外科医姿に憧れたのでしょう。

成績は良かったですか。

村田 国語は漢字、漢文以外は全くダメで、世界史は大きかったです。数学は得意でした。高校時代には、先生が間違つたのを指摘したこともあります(笑)。そんなわけで小学校の頃には、担任の先生が所用で授業が出来なくなつた時、先生の命令で私が算数の授業の先生をさせられたこともあります(笑)。

中学、高校時代は阪大医学部を目指して勉強オソリーの少年だったでしょう。

村田 阪大へ進むには灘か甲陽学院のどちらかに入るのが違つたのを指摘したこともありました(笑)。そんなわけで小学校の頃には、担任の先生が所用で授業が出来なくなつた時、先生の命令で私が算数の授業の先生をさせられたこともあります(笑)。

中学生時代は阪大医学部を目指して勉強オソリーの少年だったでしょう。



Interview



医療法人財団 池友会
福岡和白病院

副院長・外科部長
高度集中治療センター長

村田 厚夫

医者の家系4代目(ダッシュ)として、福岡県に生まれた。

趣味はサイエンス・フィクション(SFX)。高校生の頃、当時のハヤカワミステリマガジンにショートショートが掲載されたこともある。また、スター・トレック、スター・ウォーズマニアである。一方で、小学生の頃から、推理小説は殆ど読んだ(シャーロック・ホームズ、エラリー・クイーンなど)だけでなく、スパイ小説(『古事記』など)、87分署シリーズなど、考えてみればボクの頭の中は「空想の世界」なのかも知れない。

医者になってからの座右の書はサミュエル・スマイルズというイギリスの作家が書いた「セルフ・ヘルプ(自己論・立身出世伝)」。わざわざ神田の古本屋を探し回って1902年発行の原著第2版を手に入れ、今でも大切にしている。

—Profile



村田 先ほどお話ししたように、いろんな災害で発生する「中毒」についての研究仲間を通じて蒲池先生を存じあげていたのですが、かねてから先生の医療に向き合う情熱には敬服しております。加えて親分肌なところも魅力的でしたので、先生と一緒に患者さんのために汗を流そう、と決意しました。

村田 飯塚市です。二歳までいました。祖父が飯塚で内科医院を開いており、父は九州大学第一外科勤務でした。私が三歳の時、父が関西に移りましたので、あとは休みの時に帰るだけでした。ボタ山とか遠賀川で遊んだ記憶

続いて四年前の九月十一日、ニューコークで同時多発テロがあり、更に前後して中国からのSARS問題も起きました。このよう世の中には危険が溢れています。人の生命を預る職業の私としては、いても立つてもいられない気持ちになり、天災、テロ、感染症等の災厄が起きた場合、地域レベルで自分のキャリアを活かす所がないだろうか…と思ってる時、この和白病院の蒲池先生からお誘いがありました。

蒲池先生との接点は何処にあったのですか。

心の通い合う看護へ向けて、ひとりひとりとコミュニケーション

看護理念

- ・確かな知識と技術
- ・豊かな感性

9Fは消化器・呼吸器をはじめ、幅広い内科疾患の病棟です。高齢の患者様も多く、看護度の高い病棟ですが、安心して快適に過ごして頂けるようなケアを提供します。景色は当院一で、博多湾やドームも見え、心癒されます。



9階病棟

7Fは、整形外科、小児科、眼科の混合病棟です。患者様の体力の消耗を最小限にし、持てる力を最大限に發揮できるよう、援助をすることを看護の原点とし、安全で安心できる医療を提供できるように日々自己研鑽に励んでおります。



7階病棟

5Fは「東アジア神経センター」として新たにスタートしました。「信頼される病棟、心温まる病棟」を病棟理念として、専門職として大きな役割を果たすために、知識を積極的に学び皆様に満足して頂ける看護を行っています。



5階病棟

OPE室 当手術室、中央材料滅菌室では、24時間緊急手術に対応できます。また患者様が安全で安心に対応できるよう、高度化する医療、手術に對応できるよう、また患者様が受けられるようになります。手術が受けられるよう、きめ細かいスタッフ教育と環境整備の充実に力を注いでいます。



OPE室

総合外来 総合外来は20診療科の専門外来で、質の高い医療サービスを提供できるよう、看護師数80人の大所帯で日々努力しています。毎日、患者様に一人でも多く声を掛けてもらえるように、いつでもお待ちしております。



総合外来

福岡和白病院は、24時間365日、いつでも、どなたでも安心して医療が受けられる充分な体制を整えよう努力しています。患者様の24時間を支える看護部の使命は、「患者様やその家族の一人一人を大切にし、温かい心のこもった質の高い看護を提供すること」になると考えています。私共は、今後さらに期待される病院作りのために努力を続けて参ります。



福岡和白病院 看護部長 木下としこ

8Fは急性期から亜急性期までの一般内科と方々ナナイフ治療の混合病棟です。ガンマナイフは九州初導入で、多くの患者様が治療を受けられています。一般内科は、在宅や中間施設への移行をスムーズに行なえる様に、チムマム医療、地域医療との連携を図っています。



8階病棟

6Fは主に手術を中心とする外科系の病棟です。20代を中心とする若いスタッフで働いています。ですが、チームを組んで医師との勉強会を行い各分野で専門的な技術と知識をもって緊急入院手術の患者様を受け入れたいと思っています。



6階病棟

4Fは、循環器内科と心臓血管外科からなる「ハートセンター」になります。私たちは、患者様からの信頼を得られるよう、高度な医療技術を安全・快適に提供できることを目標にチームワークを大切にしています。



4階病棟

ICUは、「明るく・元気に・前向きに」をキヤッチフレーズに、厚い看護が提供できる院内で一番看護の手を必要とする患者様に手を助けることにつながります。今後もより多くの患者様を助けることが出来るとおもに頑張ります。



ICU

ERでは、様々な救急患者様に対応する為の、幅広い知識と技術、豊かな経験と感性が求められます。緊急性の判断や急変時の対応など、予想し得る変化に柔軟に対応することができるトリアージ能力の高いERナースを育成しております。



ER

健康相談室

インフルエンザ予防接種



内科
臨床薬理室長
大森 啓造



Q インフルエンザってどんな病気？

A インフルエンザは基本的に流行性疾患で、初冬から春先にかけて流行します。一旦流行が始まると、短期間に乳幼児から高齢者まで膨大な数の人を巻き込みます。普通のかぜとは異なって、インフルエンザの場合は38度以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身の症状が強く、あわせて普通のかぜと同様の、のどの痛み、鼻汁などの症状も見られます。さらに、気管支炎、肺炎、小児では中耳炎、熱性けいれんなどを併発し、重症化することがあるのもインフルエンザの特徴です。近年、小児がインフルエンザにかかると、まれに急性脳症を起こして死亡するといった問題も指摘されています。



Q インフルエンザの予防接種って？

A インフルエンザHAワクチンはA型株及びB型株をそれぞれ別々に発育鶏卵内で培養し、増殖したウイルスを不活化して作られたワクチンです。ワクチン接種することでインフルエンザに罹患しにくくなったり、あるいは、たとえ罹患しても症状の重症化を抑えたりすることができます。ことに、高齢者や基礎疾患がありインフルエンザによって重症化しやすい人にはワクチン接種を勧められます。

副反応としては、局所の発赤、腫脹、疼痛や、全身反応として発熱、悪寒、頭痛、倦怠感などがありますが、通常は2~3日で消失します。



Q 予防接種を受けるにはどうしたらいいの？

A 予防接種を受けるには予約が必要です。外来又は総合受付にて予約をしてください。通常、12歳以下は2~3週間あけて2回接種するのが望ましく、13歳以上は1回接種でも十分です。インフルエンザ予防接種には保険適応はなく自費診療となります。福岡市内に住民票がある方で、65歳以上の方、60歳以上65歳未満であって心臓・腎臓もしくは呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障害を有する方は公費での接種が可能です。詳しくは予約時にご確認ください。

当院での予約期間は10月1日~11月30日（予定）

接種期間は11月1日~1月31日（平日・土曜日AM9:00~11:30、PM2:00~4:30）

となっています。その他の場合でも気軽にご相談ください。なお、日曜・祝日・時間外の予約・接種は受けておりませんのでご了承ください。また、ワクチンがなくなり次第、予約受付を終了させていただきます。

当院でのインフルエンザ予防接種についてのお問い合わせは下記まで。

福岡和白病院：092-608-0001

（インフルエンザについてのお問い合わせは午後からとなっています）

implant インプラントセンター

インプラントセンター長 中島 幹雄



歯の模型を手に、研究に余念がない中島幹雄インプラントセンター長

皆さん、こんにちは、中島幹雄と言います。平成8年から13年まで、和白病院歯科部長をしていました。今回4年ぶりにインプラントセンター長として、復帰することとなりました。インプラント治療とは人工の歯根を埋め込み、その上にかみ合わせのための人工の歯を取り付ける方法です。インプラントを中心に治療方針を考える事で、歯科治療のゴールは劇的に変化しました。インプラント治療は、以前は限られた歯科医師による特別な治療でしたが、今では多くの一般開業の診療所で普通に行われています。和白歯科インプラントセンターの特徴はCTを身近な検査として使用し、清潔な手術室で治療を行い、心配なら入院できることで、安全で無理のない治療を目指します。失われた歯は、早期にインプラントで機能を回復して、残りの歯を守り、一生おいしいものを食べ、多いに笑い、人生を楽しみましょう。お気軽に相談ください。

ご質問などお気軽にお問い合わせ下さい

福岡和白病院 歯科インプラントセンター

TEL.092-605-8313(直通)

※歯科インプラントセンターは2Fにあります。



読売新聞夕刊

平成17年9月9日 掲載

「今日はがんばね。看護さんたまごさんと一緒に深呼吸（福岡市東区の福岡和白病院で）」
上緑化事業社企画課が運営する「スマイルテラソ」（福岡市中央区）で、約450平方㍍の芝生広場や遊具施設、菜園がそろった「緑の屋敷」だ。一日おきの下のおりやわなresseに座るべく風船を飛ばす。ビルや住宅の屋根を眺め、木椅子で相談したりする。相談室で、昨年オープンした「絆の屋敷」だ。一般にも開放されていて、今では白井苑25分訪れる。「井当を広げるO」や「一眼マガリーマン」決まってこで書類を広げる人もいますよ」と所長の三浦秀樹さん（55）。この夏は、芝生に座つて見る演劇の公演も開かれただ。福岡和白病院（福岡市東区）は、交通量が多い通りに沿って段差があるなど以前は散歩するのも大変だったと話す。太陽や風の刺激は、認知症の進行を遅らせることを過ぎず患者の笑顔が、屋上庭園のセリに見えてくる。都市部の空氣がより良いと感じられる。また、島優子さん（75）は、頑張らねえよ、再び平行棒を握りしきだ。作業療法士・桑名俊哉さん（32）は、アーチャー現象が見られる。アーチャー現象は、地図にも人の中に涼風を感じさせている。写真・文 江口馨

癒やしの『クールビル』

（毎日の熱を避け、とある上に迷ひぬいて、「かくれがの上にあります」の張り紙。チーク！エレベーター10階へがる。そこは、アイル九州ルタツツマサキエンヴォック屋上緑化事業社企画課が運営する「スマイルテラソ」（福岡市中央区）だ。約450平方㍍の芝生広場や遊具施設、菜園がそろった「緑の屋敷」だ。一般にも開放されていて、今では白井苑25分訪れる。「井当を広げるO」や「一眼マガリーマン」決まってこで書類を広げる人もいますよ」と所長の三浦秀樹さん（55）。この夏は、芝生に座つて見る演劇の公演も開かれただ。福岡和白病院（福岡市東区）は、交通量が多い通りに沿って段差があるなど以前は散歩するのも大変だったと話す。太陽や風の刺激は、認知症の進行を遅らせることを過ぎず患者の笑顔が、屋上庭園のセリに見えてくる。都市部の空氣がより良いと感じられる。また、島優子さん（75）は、頑張らねえよ、再び平行棒を握りしきだ。作業療法士・桑名俊哉さん（32）は、アーチャー現象が見られる。アーチャー現象は、地図にも人の中に涼風を感じさせている。写真・文 江口馨